
村上市教育大綱（案）

『郷育（さといく）のまち・村上』

～郷に育ち・郷を育て・郷が育てる～

平成 29 年 月

村 上 市

大綱の概要

この大綱は、「第2次村上市総合計画（平成29年度～33年度）」を踏まえ策定される、「第2次村上市教育基本計画」に規定する基本的な方針を重視して策定します。

これまでの「郷育（きょういく）」の考え方を捉え直し、郷土に誇りをもち自らの進路を切り拓くことのできる子どもたちを育成する活動と、全ての市民が生涯にわたって学習し、その成果を展開したり、次世代に伝えたりする活動を総じて『郷育（さといく）』と改めます。そして、主体的・協働的な学びによる人づくり、地域づくり、学校づくりをすべく、村上市の教育の基本理念・基本目標・基本施策を定めます。

1 基本理念

「郷育（さといく）のまち・村上」

～ さとに育ち・さとを育て・さとが育てる ～

- 自らを高めるとともに、他の人々と共に高まろうとする学びの推進【郷に育ち】
- 社会や地域の向上に貢献していこうとする学びの推進【郷を育て】
- 地域の子どものみならず地域のみんなで育てる教育活動の推進【郷が育てる】

2 基本目標

私たち村上市民は、将来にわたって村上市が活力に溢れ、市民一人ひとりが輝き、「ここで生きる」ことのできる「まち」であることを願っています。それは、子ども・大人が「ここで生きる」者としての自覚をもち、連帯感を一層強めて、つながりをつなぐものにする取組を確実に積み重ねていくことにより、子どもも大人も共に育つ「まち」とも言えます。

教育は「人づくり」であり、教育振興が地域づくりに貢献できるという観点から、市民である「子ども」と「大人」が共に育つ「まち」、『郷育（さといく）のまち・村上』を目指し、以下の基本目標を定めます。

(1) 「ここで生きる」ことに自信と誇りをもち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力（知力、気力、体力、徳性）を備えた子ども

基本目標(1)では、地域にふれ、そのよさを実感し、愛し、心のよりどころとして故郷をもち、なお実力を十分備えて、将来どこで暮らそうとも、自らの進路を切り拓き、自分らしくよりよく生きていこうとする気心を育てる「郷育」の実現を目指しています。

(2) 「ここで生きる」ことに喜びと生きがいを感じ、生涯を通じて学び、活かし、つながり合う市民

基本目標(2)では、すべての市民が郷土を愛し、さらなる高みを求めて生涯にわたり「学び」、その成果を発揮することで更なる「学び」の輪を形成し、つながり合っ
て共に支え合いながら地域を活性化していく人材の育成や、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むための環境を提供していく人材の育成など、自立した地域社会の基盤づくりとなる「郷育」の実現を目指しています。

3 基本施策

**(1) 支え合い、つながり合っ
て共に育つ学びの推進**

(2) 学ぶ意欲と確かな学力・知力の向上

(3) 豊かな心と健やかな体の育成

(4) 自立と共生を目指す特別支援教育の推進

(5) 人権を尊重し、共に支え合う社会の創造

(6) 高度な専門性の追求

(7) 望ましい学びの場の整備

(8) 開かれた教育行政の推進

(9) 教育に携わる人材の育成と支援